

かすが 議会だより

平成29年 | 3月定例会



Contents

- 2 特集 新年度予算
- 4 3月定例会での議案審議
- 7 議決結果
- 10 13人の議員が一般質問
- 16 議会だよりをリニューアル



No. 187

3月定例会では、平成29年度一般会計予算について、議員全員による予算審査特別委員会が設置されました。経常経費の縮減に努めながらも、少子化超高齢社会の到来に備え、持続可能な社会の構築に向けた予算配分であることなど説明を受け、慎重に審査し、定例会最終日の24日には、本会議において委員会同様、原案のとおり可決成立しました。

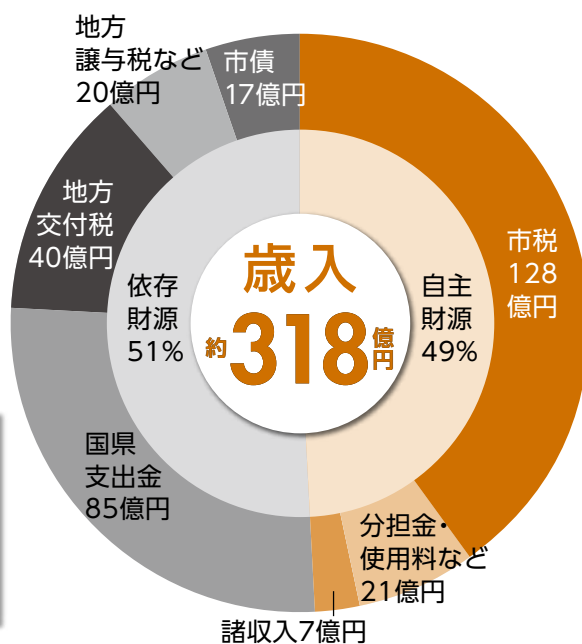
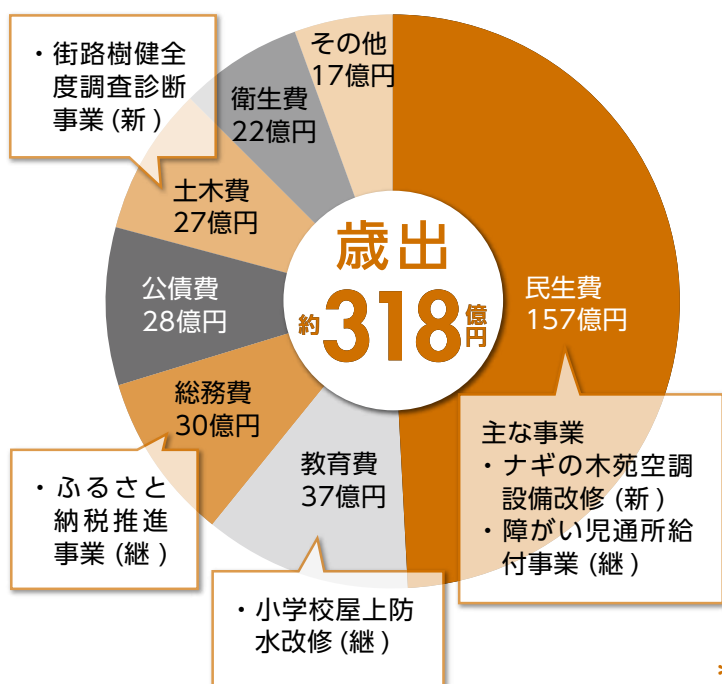
平成
29年度
一般会計
予算

318億円

地方創生総合戦略や各種計画を具現化し、「協働のまちづくり」を推進する予算

一般会計の歳入と歳出の内訳は？

※(新)新規、(継)継続

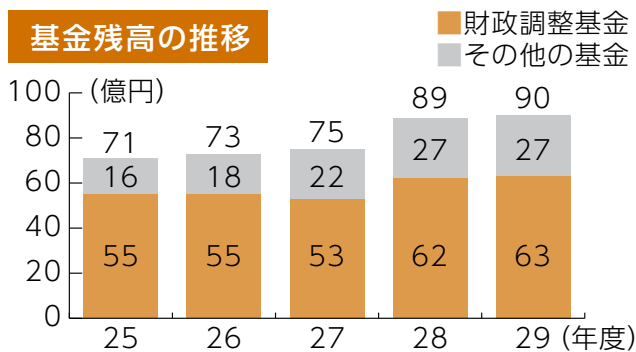


※ 自主財源: 市が自主的に収入できる財源

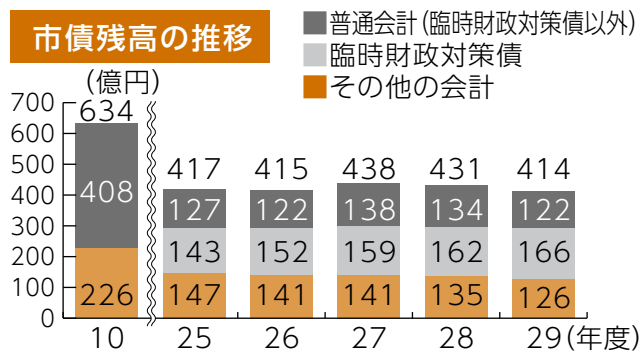
※ 依存財源: 国や県の意味により交付される財源

一般会計の基金(貯金)と市債(借金)の残高は？

※市債は全会計 ※基金は普通会計 ※28年度以降は見込額



動向 公共施設等整備基金は、平成28年度の天神山小大規模改修、29年度の連続立体交差事業などの財源として取り崩す。今後の公共施設の更新や災害などに備え、総額では残高は増加している。



動向 市債残高は、平成10年度末をピークに減少してきたが、27年度は総合スポーツセンター建設に伴い増加に転じた。新規市債を抑制し着実に償還を進め28年度は再び減少する見通し。一方で、臨時財政対策債の残高は増加している。

高齢者運転免許証 自主返納支援事業

※高齢者祝金制度の見直し
による財源の一部活用



新規

有効期間内の運転免許証を自主的にすべて返納した70歳以上の市民に対し、5,000円分のＩＣカード乗車券を交付することで、高齢者が加害者となる交通事故の抑止を図るとともに、公共交通機関の利用を促進する。

問 県補助が2分の1のため、本市補助額は2,500円と、高齢者祝金減額分を高齢者に還元させている感はなく、自主返納を促すには魅力が乏しいのでは。

答 金額は道路交通法の改正や免許を持たない高齢者とのバランスなどを考慮し決めた。

予算額 84万円

まちづくり交付金

※高齢者祝金制度の見直しによる財源の一部活用

継続

高齢者支援加算を設け、「地域の見守り・支え合い」など高齢者を支援する活動に必要な財源の充実を図り、これらの活動の継続と推進を目指す。

問 高齢者祝金事業費が約45%減の根拠は。また、新たな高齢者加算ではあるが自治会加入促進加算も必要ではないか。

答 介護保険特会への繰出金など今後の高齢者施策の増加を勘案した。自治会の加入促進などは自治会連合会や自治会と連携し、どのような支援ができるか検討する。

予算額 1億565万円

新設民間保育所 施設整備事業



新規

新設保育所の整備に対し、適切な補助を行い、保育所の定員増加を図る。子ども・子育て支援事業計画において、計画期間内である平成31年度までに待機児童の解消が求められていることから、保育所の増設を図る。

問 新設保育所が設置されれば待機児童は解消するのか。

答 ある程度は解消できる。

予算額 2億854万円

公私連携型保育所春日白水保育園費

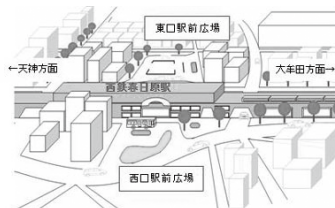
予算額 2億6,767万円

継続

西鉄春日原駅 周辺整備事業 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業

継続

県実施の西鉄天神大牟田線連続立体交差事業に連動し、春日原駅前広場および周辺道路を整備し、市の新しい玄関口となるまちづくりを推進する。また同事業に対し、地元負担金を支出する。



予算額

5億293万円 ▲春日原駅周辺イメージ図

小・中学校 教員用パソコン更新事業

新規

配置から8年目を迎える教員用のパソコンを更新し、学習支援および学級運営の推進を図る。

問 契約が5年間の理由とその費用対効果は。

答 パソコンおよび周辺機器のメーカー保証を考慮し5年間にすることで最大の費用対効果を見込めると考える。

予算額 1億64万円

採決にあたっての討論

反対

市民の福祉の増進や、将来の春日市を担う子どもたちへの教育、福祉予算など、使うべきところへ予算をあて、施策の充実を。

賛成

市民生活の安定や質の充実に充分配慮された予算編成であり、「住みよさ発見 市民都市かすが」の実現に沿った実効性ある内容である。

賛成

高齢者祝金を見直し、高齢者本人に加え、支える人、見守る人を支援する新たな仕組み導入の対策を講じている点も高く評価する。

議案審議

インターネットで録画
配信しています

春日市議会 検索

3月
定例会

会期 2月27日～3月24日(26日間)

委員会付託議案 総務文教 9件、市民厚生10件、地域建設9件、予算審査特別 1件

【第9号議案】ふれあい文化センター設置条例の一部改正

市民図書館の管理運営 平成30年度から 指定管理者に

賛成多数
可決



原則として公募により候補者を選定し、5年以内の指定期間において、その管理を指定管理者が行う。

指定管理者が行う業務 図書館資料・移動図書館・読書会に係る事業、
図書館の維持管理など

問 指定管理者制度導入の目的は何か。

答 現在も適正かつ創造的な管理運営を行っている。今後正規司書職員を採用する計画はないため、職員在職期間に業務を継続できる体制を整える。また、現在のサービス水準を守りつつさらに向上させるために導入する。

問 利用者などとの行政の総合調整が重要では。

答 仕様書に、利用者アンケート、市との連絡調整会議の実施、図書館協議会への出席などを明記する。あくまでも市が実施主体であり、今まで同様に利用者などの意見を聴取しながら運営を支えていく。

採決に
あたっての
討論

反対 具体的な市民サービス向上の内容も見えず協働する市民への説得力に欠ける。

反対 公立図書館への制度導入が全国で1割程度しか進んでいない背景は、政府が図書館にはなじまない軌道修正したもの。

賛成 年間利用者は本市人口の約13%のため、未利用者への来館アプローチに、優れた民間ノウハウの活用を期待。

要望 現在と同様にボランティアの方が大いに参加できるようにすること、高齢者や障がい者などの居場所づくり、親子で本が読めるスペースや学習スペースの確保、託児・宅配サービスなどの検討を。

指定管理者制度

公の施設の管理運営を、民間企業やNPO法人など民間事業者に委ねる制度。民間事業者が持つノウハウを活用して住民サービスを向上させるとともに、施設管理の効率化を推進することを目的とする。本市では、保育所、放課後児童クラブ、総合スポーツセンターなどで導入している。

【請願第1号】春日市民図書館への指定管理者制度導入に関する請願

図書館ボランティア 団体から請願書が 提出される

不採択

趣旨 導入について市民への説明と意見を聞く機会の設置、また制度導入のための条例改正議案の慎重審議を求める。

所管事務調査

総務文教委員会 4月7日

指定管理者募集要項を基に調査を実施した。次の項目に評価の重点を置いた審査基準となっていた。

- ・組織的な専門職育成によるサービス向上と安定的な運営
- ・魅力的な事業の展開や、利用者増の具体的な事業の創出(300点中130点を配分)。

市民図書館など指定管理者制度の導入が決まる

【第8号議案】ふれあい文化センター設置条例一部改正

ふれあい文化センターの管理運営 平成30年度から 指定管理者に

賛成多数
可決

原則として公募により候補者を選定し、5年以内の指定期間において、その管理を指定管理者が行う。

指定管理者が行う業務

文化活動・生涯学習の振興事業、文化施設の維持管理、使用の許可、利用料金に関することなど



問 指定管理導入前後の経費変化は。

答 導入により、約990万円の経費削減効果を見込んでいる。

問 導入後の利用者からの意見や要望などへの対応は。

答 市と指定管理者で毎月会議を行う予定としているため、市に対して届けられた要望などは指定管理者へ伝え、改善を求めることが可能なものについては、改善を求めたいと考えている。

問 指定管理者の選定基準は。

答 選定の際の主な基準は、経営能力、業務の運営、維持管理といった項目である。指定管理料は一つの要素であるが、どのようなサービスを提供できるのかといった点に配点を多くして選定に当たりたい。

所管事務調査

地域建設委員会 4月7日

指定管理者募集要項を基に調査を実施した。

指定管理者選考に用いる具体的な審査基準ならびに評価の点数配分が示され、指定事業および自主事業における魅力的な提案力が最も重要視されることが明らかになった(300点中90点を配分)。

【第11号議案】特定教育・保育施設等における事故検証委員会条例の制定

保育所などでの 重大事故原因究明の 検証委員会設置

全員賛成
可決

対象施設

保育所、幼稚園、認定こども園、放課後児童クラブ
家庭的保育、小規模保育、一時預かり保育、病児保育など

委員数

5人以内

委員構成

学識経験者、弁護士、医師、教育・保育施設の実務経験者など
※重大事故の関係者は委員になれない



問 届出保育施設や障がい児への放課後等デイサービスは検証対象か。

答 届出保育施設は指導監督責任を持つ県が検証体制を整えるので、市は連携して検証にあたる。障がい児への放課後等デイサービスは対象外。

問 検証結果の報告の活用方法は。

答 検証委員会の答申を踏まえ、市は報告書を作成、公表し、国へ報告する。事故を起こした施設だけでなく、関係施設にはその改善策を実施するよう周知徹底していく。

【第23号議案】平成29年度国民健康保険事業特別会計予算

総額は126億4千万円
被保険者数の減少と
医療費の増の傾向

全員賛成
可決



29年度予算 前年度比 3億7,665万円、3.1%増

うち保険給付費 前年度比 1億6,545万円、2.3%増

問 現年分徴収率は前年度比で91.5%から92.0%と0.5ポイント上げて計上しているが、どういう徴収手法を考えているのか。

答 滞納整理の強化と納税環境の整備であり、新たな取り組みとしてペイジー口座振替受付サービスを導入する。

ペイジー口座振替受付サービス

キャッシュカードの提示で専用端末により口座振替を申し込むことができる(印鑑・通帳不要)。

【第1号議案】教育委員会教育長の任命

山本直俊教育長が
再任

平成29年度から31年度までの3年間を引き続き任命する。任命後は4期目となる。

賛成多数
可決

採決にあたっての討論

反対 コミュニティ・スクールも10年を迎え、運営の形骸化や地域の負担増など課題も指摘されている。学校支援中心から新しい協働のまちづくりにシフトすることが求められている。

賛成 九州初のコミュニティ・スクールを導入し、全国モデルとして紹介されている。就任以来、教育長学校出前トークを毎年度実施し、教職員の多忙化の解消策の実施などに尽力した。

1月

臨時会

ふるさと納税に係る一般会計補正予算を審議

会期 1月11日(1日間)

委員会付託議案 総務文教 1件

【臨時会第1号議案】一般会計補正予算(第5号)

かすがふるさと応援寄附金の
増加に伴い約4億8千万円増額

全員賛成
可決

ふるさと応援寄附金数の増加により、それに係る寄附金、返礼品の送付の委託料、その事務に係る職員人件費などを増額する。

歳入 応援寄附金 4億8,270万円増

歳出 応援寄附金推進事業費 2億9,743万円増など



3月定例会議決結果

人事案件 2件

- 教育委員会教育長の任命 [同意]
- 人権擁護委員の候補者の推薦 [同意]

条例の制定 2件

- 特定教育・保育施設等における事故検証委員会条例 [原案可決]
- 空家等対策協議会条例 [原案可決]

条例の一部改正 12件

- 個人情報保護条例 [原案可決]
- 職員の育児休業等に関する条例 [原案可決]
- 職員の配偶者同行休業に関する条例 [原案可決]
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例 [原案可決]
- 税条例等 [原案可決]
- ふれあい文化センター設置条例 (ふれあい文化センター) [原案可決]
- ふれあい文化センター設置条例 (市民図書館) [原案可決]
- 保育所設置条例 [原案可決]
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例 [原案可決]
- 地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例 [原案可決]
- 都市公園条例 [原案可決]
- 道路附属物自動車駐車場の駐車料金の徴収に関する条例 [原案可決]

平成29年度 当初予算 5件

- 一般会計 [原案可決]
- 国民健康保険事業特別会計 [原案可決]
- 後期高齢者医療事業特別会計 [原案可決]
- 介護保険事業特別会計 [原案可決]
- 下水道事業会計 [原案可決]

平成28年度 補正予算 5件

- 一般会計 (第6号) [原案可決]
- 国民健康保険事業特別会計 (第5号) [原案可決]
- 後期高齢者医療事業特別会計 (第4号) [原案可決]
- 介護保険事業特別会計 (第5号) [原案可決]
- 下水道事業会計 (第4号) [原案可決]

その他の案件 2件

- 市道路線の廃止 [承認]
- 市道路線の認定 [承認]

議員提出議案 1件

- 予算審査特別委員会の設置 [原案可決]

請願 1件

- 市民図書館への指定管理者制度導入に関する請願 [不採択]

意見書 1件

- 無料公衆無線LAN (Wi-Fi) 環境の整備促進を求める意見書 [原案可決]

報告事項 (専決処分) 4件

- 差押債権の取立請求に係る訴えの提起ほか3件 [受理]

賛否が分かれた案件

その他の案件については全員賛成で可決されました。

議案 番号	平成29年第1回(3月) 定例会 件 名	公明党				創政会				みらい 春日	春風会		翔雲 会	会派大樹		春陽会		会派に所属 しない議員		議決 結果	
		◎				◎				◎			◎	◎		◎					
		野 口	前 田	岩 切	高 橋	與 國	竹 下	米 丸	川 崎	西 川	武 末	白 水	松 尾	中 原	北 田	近 藤	白 水	岩 渕	吉 居		内 野
		明 美	俊 雄	幹 嘉	裕 子	洋	尚 志	貴 浩	英 彦	文 代	哲 治	勝 己	徳 晴	智 昭	幸 恵	和 博	稜	恭 子	明 浩		
1	教育委員会教育長の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	同 意
8	ふれあい文化センター設置条例(ふれあい文化センター)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
9	ふれあい文化センター設置条例(市民図書館)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
22	一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願 第1号	市民図書館への指定管理者制度導入に関する請願	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●		不採択

※金堂清之議員(翔雲会)は議長職のため、表決権はありません。
※賛成・反対討論を行った議員は網掛け ■ しています。

※○は会派代表者 (○賛成 ●反対)

市民厚生委員会

【第7号議案】市税条例等の一部改正

軽自動車 自動車取得税を
廃止し環境性能割を導入

軽自動車税の環境性能割の導入、個人市民税に係る住宅借入金等特別税額控除の適用期限の延長などに関し、所要の規定の整備を図る。

納税手続きの変更は

問 当市の税収への影響は。また改正により市民の納税手続きが変わるのか。

答 税収への影響はないと推測する。納税手続きはこれまでどおりで変わらない。

【第25号議案】平成29年度介護保険事業
特別会計予算

前年度比4億円、6.6%増

歳入歳出予算総額 66億5,788万円
うち保険給付費 前年度比4億1,786万円、7.4%増

居宅介護予防サービス減の要因は

問 居宅介護予防サービスについて、福祉用具購入や住宅改修は在宅介護が進むのに前年度比減となっている要因は。

答 ある程度普及したこと、また一部利用者の費用負担割合が2割となったことなどが影響していると考ええる。

地域包括ケアシステムの構築に向け

問 生活支援コーディネーターによる資源充実のための調査が協議体に生かされるのか。

答 生活支援コーディネーターと作成した、介護サービス以外のさまざまな生活支援を集めた「資源ガイドブック」などを協議体に諮りつつ全市的に共有できるようにしたい。

協議体

地域での高齢者の生活支援について協議する場合

総務文教委員会

【第17号議案】一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出予算総額 332億6169万円

市民公益活動事業
補助金について

利用状況と周知方法は

問 補助金の利用状況と周知方法は。

答 相談件数15件のうち交付決定は2件。相談時期が遅く来年度の申請にまわす団体もあった。これまで以上に市報などによる年度当初の周知を徹底していきたい。

小学校夏休みプール
監視業務委託料について

入札執行残を減額

問 プール監視業務が予算より低く入札。安全性は確保できているのか。

答 P T Aが主催する期間の業務である。入札仕様書には救命救急講習過程の修了者の配置などを条件としており、安全面には十分配慮している。

小中学校大規模改修は

大規模改修でトイレ洋式化

問 小中学校大規模改修におけるトイレの洋式化は。

答 約8割を洋式便器に改修し、トイレ全体の床を乾式化する。



地域建設委員会

【第8号議案】ふれあい文化センター設置条例一部改正

ふれあい文化センターの管理運営 平成30年度から指定管理者に

* 関連記事 P 5

導入後の市民サービスの質の確保は

問 指定管理の導入によって、より質の高いサービスの提供が期待できるのか。

答 総合的に安いコストで良いサービスを提供できると考えている。



指定管理者について

問 仕様書の案で示されているような多岐にわたる業務を一手に引き受けることができる事業者が福岡近郊に存在するのか。それともジョイント・ベンチャー（JV・共同企業体）に対して指定管理させることを想定しているのか。

答 全ての業務を一事業者のみで担うことは難しいと考えているため、ジョイント・ベンチャーによる応募を想定している。

継続すべき直営事業の考えは

問 指定管理導入後も継続すべき市の直営事業についてはどう考えているのか。

答 文化祭などの市と文化協会が一体となって実施している事業、音楽の玉手箱事業、学校教育の一環として学校に音楽家を派遣している事業などについては、市の直営事業として残ると考えている。

平成29年3月定例会から委員会の記録を市議会ウェブサイトで閲覧することができます。

公開時期

平成29年6月から

公開する委員会

各常任委員会、特別委員会
議会運営委員会



委員会記録を見る
ときは「会議録の
検索」をクリック

3月定例会一般質問

13人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

各議員が決める

質問内容は、議案とは関係なく議員個人が決めます。市政全般について市長の見解を求め、市政に対する提言を行います。

質問は受付順

一般質問を行いたい場合は、質問内容を記した一般質問通告書を議長に提出します。この受付番号が発言順となります。

回数制と時間制

回数制は3回まで質問できます。時間制は質問の制限時間が40分以内です。再質問以降は一問一答方式で行い、答弁を市長に求めます。

質問項目一覧

中原智昭 議員

- ・小中学校における教育のICT化導入について

前田俊雄 議員

- ・本市における「生涯学習の推進」の位置付けと今後について

松尾徳晴 議員

- ・春日市の遺跡、文化財の保存と有効活用について
- ・春日市民図書館について

與國 洋 議員

- ・ふるさと応援寄附金について

白水勝己 議員

- ・長浜太宰府線整備事業について
- ・普通救命講習(AED講習)について

川崎英彦 議員

- ・文化財の活用について
- ・公園利用と安全対策について

吉居恭子 議員

- ・市民図書館への指定管理者制度導入計画について

高橋裕子 議員

- ・子ども・子育て支援について

西川文代 議員

- ・市民図書館の指定管理者制度導入について

近藤幸恵 議員

- ・環境行政について
- ・教育行政について

岩切幹嘉 議員

- ・高齢者支援の拡充について

北田 織 議員

- ・自治基本条例(まちづくり条例)の制定について

内野明浩 議員

- ・高齢者の運転免許証の自主返納について
- ・骨髄移植ドナー登録の推進について

※全文は市議会ウェブサイトの会議録検索システムで閲覧できます。
 ※原稿は、質問者本人の執筆によるものです。
 ※各議員の記事の右上にあるQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると一般質問の録画映像を見ることができます。

小中学校に教育の ICT化導入を

なかはら ともあき
中原 智昭 議員



問 2020年学習指導要領の改正に伴い、小中学校の子どもたちが情報端末を用いて授業を受けることを目標にしているが、本市のICT化導入の予定は。

答 文科省の目標を念頭に教育のICT化推進に向けて検討していく。具体的には既存のICT機器の使用状況の把握、全体的なハード整備、既存機器を活用できる関係者の研修、教育委員会の支援の在り方などを時間をかけて総合的に検討していく。



「生涯学習の推進」は 今後どうするのか

まえだ としお
前田 俊雄 議員



問 生涯学習の歴史が約半世紀を経ていること、平成18年の改正教育基本法第3条に新たに「生涯学習の理念」が規定されたことなどを踏まえ、本市の「生涯学習の推進」の取り組みをたどってみると、組織的に体系的に行われてきたと言い難い。「生涯学習の推進」の位置付けと今後の方向性を尋ねる。

答 協働のまちづくりを進めていくことにつながると位置付け、今後の推進体制や進捗管理などについては十分に議論したい。



生涯学習まちづくり計画など

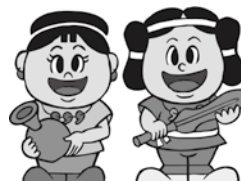
春日市の遺跡・ 文化財の有効活用を

まつ お とくはる
松尾 徳晴 議員



問 春日市の遺跡で「水城跡」は国指定特別史跡(国宝)であり、「須玖岡本遺跡」は国指定遺跡(重要文化財)である。春日市が一丸となって国指定特別遺跡になるよう努力してもらいたい。

答 弥生時代の国々の雄であった「奴国」の先進性や繁栄を伝える貴重な遺跡「須玖岡本遺跡」を特別史跡化の形で、国の宝として多くの人に知ってもらい市民の誇りとなる取り組みができたらと考えている。特別史跡化のため国県と情報を密にする。



春日ふるさと応援 寄附金は

よくに よう
與國 洋 議員



問 ふるさと寄附金は12月末現在で約6億円と急増し、経費を除いた実質増収は約2.4億円になる。寄附に対し「返礼品と真心」で答える必要があるが、返礼品の開発および市のPR、寄附の活用状況を知らせるべきではないか。

答 体験などのサービスの提供を含め魅力的な返礼品の開発に努める。また、返礼品送付時のPRは新たな負担が生じる課題もあり検証する。寄附金の活用状況は決算時期にウェブサイトで公開する。



ふるさと納税でかすがを元気に

AED講習について



しろうず かつみ
白水 勝己 議員

問 中学2年生は保健体育の授業でAEDについて勉強しており、本市六中学校の2年生全員に普通救急講習を授業として受講できる方向で検討してもらえるか。

答 春日・大野城・那珂川消防本部で入門コースの設定が成されれば、教育委員会としては、保健分野のねらいである「傷害の防止」について理解を深める上で、有効な取り組みであると考えられ、各中学校へ情報提供したい。



ため池釣り被害撲滅の釣り堀を



かわさき ひでひこ
川崎 英彦 議員

問 ため池隣接敷地に不法侵入が報告されているが、その見解は。釣り愛好者が多くいる現実を考えると、どこか有料つり堀を設置して事件事故の減少につなげては。

答 大牟田池の不法侵入事案は問題と考えている。ため池周辺には禁止事項注意看板15カ所、立入禁止看板19カ所設置している。不法侵入者を確認時には注意し、状況に応じて警察とも連携し対応している。安全性の確保と水利組合などが事故防止のために釣りの禁止をしており釣り堀の設置は難しい。



釣りを楽しむ親子

図書館への指定管理撤回の考えは



よし い きょうこ
吉居 恭子 議員

問 市の導入の目的はコスト削減だが、試算では逆にコスト増で、サービス向上の確証も得られない。制度の弊害で導入が進まない全国の事例から、政府も図書館への導入推進を撤回した今、やめるべきでは。また、関係団体をはじめ多くの市民に疑問が残り、納得できなくても導入するのか。

答 人口減少、超高齢化社会を前に、持続可能な財政確立のため、制度を導入する。反対意見もあるが、賛成意見もある。市が総合的観点で判断した。



市民図書館

発達障がい者支援策を問う



たかはし ゆうこ
高橋 裕子 議員

問 発達障がい児の多くは4、5歳の集団生活の経験を通し適切に指摘されるとは、多くの専門家の意見。早期発見と支援につながる5歳児健診の取り組みを提案。また、切れ目のない発達支援システムを構築して、支援を提供する取り組みが必要ではないかと考えるがどうか。

答 5歳児健診などは専門人材確保の難しさや財政的課題がある。関係支援機関との連携強化に努め対応していく。発達支援システムは構築に向け検討中。



福祉ぱれっと館

図書館への 指定管理者制度導入



にしかわ ふみよ
西川 文代 議員

問 導入推進についてのボランティア団体の意見は、パブリックコメントが未実施であり、議論や検討、調査研究が不十分であるため導入は時期尚早である。また、経費節減目的の導入ではないとの説明も受けている。それに対する見解は。

答 高い経済性、効率性を追求するため、地域資源や民間活力を有効に活用していく方針であり、厳しい財政状況の中、指定管理者制度導入検討委員会での議論を踏まえた上で、導入を判断した。



市民図書館

西浦新池の水質調査で 7項目が基準値超



こんどう さち え
近藤 幸恵 議員

問 砂防ダムかと思えるように土砂が蓄積し、赤水が流入している。調査結果は高い率で基準値を超えているが、大丈夫なのか。また、土砂に基準値を超えた物質が蓄積されていくが、その影響は。

答 27年度は例年の採水予定地での調査ができず、工事施工箇所内において採水を行ったため基準値を超えたが、28年度の結果は基準値以下。赤水は鉄分由来と思われ、基準値を超えた物質の土砂への蓄積は調査対象ではない。引き続き監視したい。



高齢者支援の 新事業の取り組みは



いわきり みきよし
岩切 幹嘉 議員

問 介護ボランティアポイント制度の活動の範囲を施設関係、在宅介護まで広げるとより多くの人が参加しやすくなると思うが、どうか。また、ポイント交換の活用を施設の利用券だけでなく、もう少し幅広く工夫できないか。

答 まずは、介護予防事業の範囲に限定し運用をし、試行期間の中で制度の検証を行っていく。ポイントの交換の上限は年間5千円分でご意見をいただきながら、検証していく。



協働のまちづくり 条例の制定を問う



きた だ のぼる
北田 織 議員

問 協働のまちづくりの規範となる住民自治に基づく自治体運営の基本的なルールや方向性などを規定する条例を制定すべきであると思うがどうか。また、総合計画の法的策定義務が無くなったが、策定の場合、基本計画まで議決事項にすべきであると思うがどうか。

答 協働のまちづくりの課題が解決できない場合にに取り組む。首長と議会の関係性などを踏まえ、どこまで議会の議決事項とすべきか検討する。



会期日程 平成29年 6月定例会

日	月	火	水	木	金	土
5/28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9 本会議 (議案説明)	10
11	12	13 本会議 議案運営委	14 常任委員会 (議案審査)	15 常任委員会 (議案審査) 議案報委	16 常任委員会 (議案審査)	17
18	19	20 本会議 (一般質問)		22 常任委員会 (議案採決)	23 議案運営委 常任委員会 議案報委	24
25	26 本会議 (議案採決)	27	28	29	30	

※日程は都合により変更になることがあります。

議会傍聴しませんか

一般質問の質問項目は
公民館に設置、市議会
ウェブサイトに掲載し
ています。

議会を見ませんか

ケーブルテレビ生中継
(一般質問)
インターネット録画映
像配信 (Youtube)

高齢者運転免許証の
自主返納

うちの あきひろ
内野 明浩 議員



問

今回導入しようとしている支援事業は、道路
交通法改正のタイミングでの制度導入であ
る。事業の内容の根拠と今後見直していく考
えはあるのかを問う。

答

導入する支援事業の内容は、高齢者祝金の
見直し関連事業としての位置付けもあり、
活用を予定している福岡県の補助制度の基
準額、道路交通法改正の影響など、総合的
に考慮した結果であ
る。まずは、今回の支
援内容を実施した上
で、事業の運用状況を
検証する。



可決された意見書を関係機関に提出しました

地方自治法第99条に基づき、市の公益に関することについて、国会や国、県などの関係行政庁
に対し、議会の意思をまとめて提出し、問題解決・改善を働きかけます。

無料公衆無線 LAN (Wi-Fi) 環境の整備促進を求める意見書

2019年ラグビーワールドカップ日本大会、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、
通信環境の整備、とりわけ無料公衆無線 LAN (Wi-Fi) 環境の整備は喫緊の課題となっています。

2014年度に観光庁が行った「平成26年度訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関する現
状調査結果」によると、旅行中最も困ったこととして、無料公衆無線 LAN環境が30.2%と最も高く、特
に公共施設や観光施設における Wi-Fi環境の普及や利用手続きの簡便性の面での課題が指摘されていま
す。

政府は、防災の観点から、2020年までに約3万箇所の Wi-Fi環境の整備を目指しており、また空港や駅・
鉄道、宿泊施設など人が多く出入りする場所には、民間での設置を働きかけています。

Wi-Fi環境の整備促進は、インバウンドのさらなる増加だけでなく、防災拠点となる公共施設等の災害
時における通信手段の確保にも大きく貢献することから、以下の項目について強く要望します。

記

- 1 鉄道・バス等の公共交通機関やホテル・旅館等の宿泊施設などの民間施設に対する Wi-Fi整備支援
事業を一層拡充すること。
- 2 日本遺産・歴史資料館等の観光拠点や観光案内所における Wi-Fi環境の整備を一層促進し、観光地
の機能向上や利便性向上を図ること。
- 3 防災の観点から、避難所・避難場所の学校、市民センター、公民館等の防災拠点や、博物館・自然
公園等の避難場所として想定される公的拠点への Wi-Fi環境の整備を行う地方公共団体に対して、財
政的支援措置を導入すること。

市議会の評価

議会運営委員会

市議会では、春日市議会基本条例に基づき、定例会ごとに議案の審査結果、採決の結果、一般質問の実施状況などについて、議会活動の評価を行います。

今議会では、市長提案の人事案件2件、条例案件14件、予算案件10件、その他の案件2件および意見書1件、請願1件を慎重に審査致しました。

1 議案の審査結果

提案された28議案の中でも平成29年度一般会計予算の審査においては、92項目以上の質疑が出され、また政策提案などの議論が交わされ慎重な審議が行われた。一方では審査に関係のない質問や情報収集のための資料請求、または修正案を提出し、否決されると原案に賛成するなど分かりにくい印象もあった。

2 採決の結果

平成29年度一般会計予算、教育委員会教育長の任命、市民図書館の指定管理者制度の導入の採決では、反対討論、賛成討論が複数出され、意思を明確にした結果となった。

3 一般質問の実施状況

質問通告者は13人で、18項目の幅広い政策、施策について執行部と多岐にわたり活発な議論が交わされた。

なかでも、市民の関心が高かった市民図書館の指定管理者制度の導入については、異なる視点で3人の議員から質問が出され、執行部の考え方などが明確になった。

4 その他

①一般質問通告書の要旨については、具体的に簡潔にまとめることが望ましい。

②傍聴時における受け付けの在り方などについては検討する必要がある。

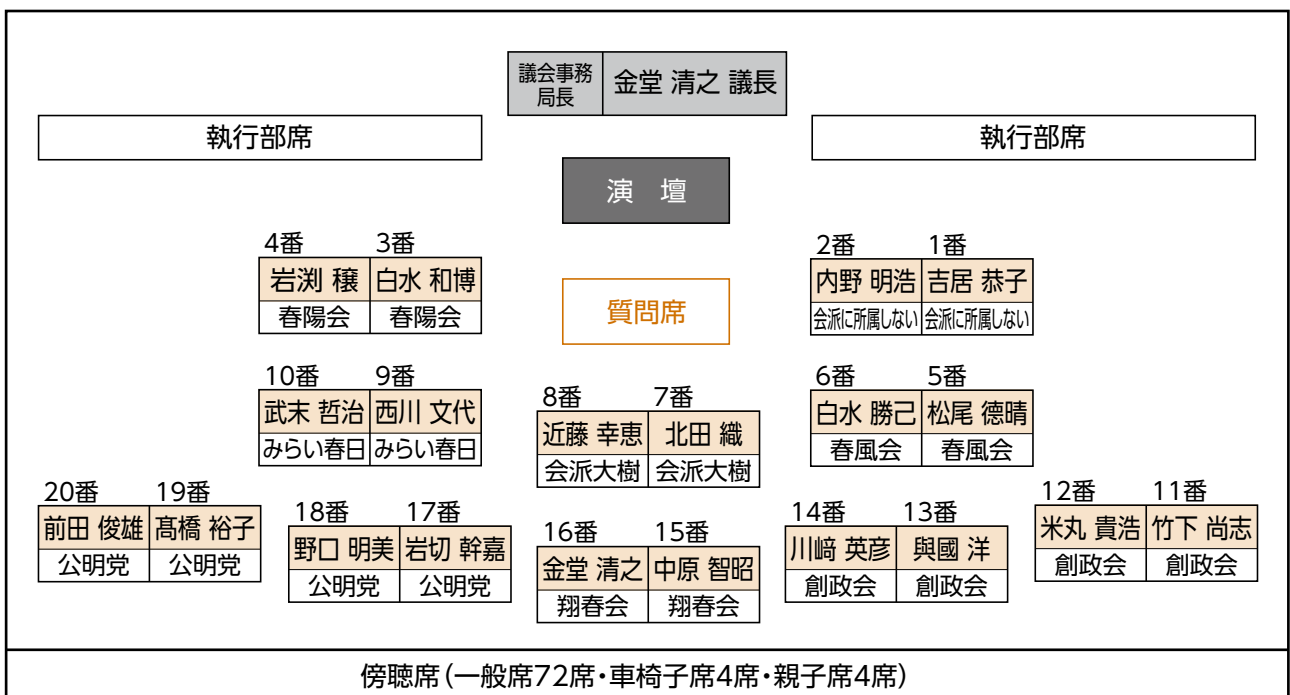
※議会の傍聴者は、一般質問、本会議最終日の3日間で延べ44人でした。詳細は、市議会ウェブサイトに掲載していますので、ご覧ください。

議席、会派および議会運営委員の変更

会派の結成などにより議席が下記のとおりになりました。

また、定例会最終日において、武末哲治議員および前田俊雄議員の議会運営委員の辞任が許可され、新たに西川文代議員および白水和博議員が委員に選任されました。

議席番号
議員名
会派名



議会だよりをリニューアルしました！

今号から全面リニューアルしました。

横書きを中心とし、レイアウトを変更しました。また、本会議と委員会で行われている議案審議の内容を増やし、より詳しくお知らせしています。

多くの市民の皆さまに、議会への興味関心を持っていただけるよう、今後も魅力的な紙面づくりを心掛けてまいります。



表紙写真ご応募ください

より市民に親しまれる「議会だより」にするため、表紙の写真を募集いたします。

詳細は市議会ウェブサイトをご確認ください。

市議会ウェブサイトで公開が始まります

[市議会トップページ] → [情報公開] → [政務活動費] でご覧いただけます。

Web画面写真



政務活動費 収支報告書

政務活動費は、議会の審議能力を強化するため、議員または会派の調査研究その他の活動に対して、その費用を助成するものです。本市議会では、政務活動費の使途基準に基づき、適正な執行に努めていますが、さらに透明性を図るため、本市議会ウェブサイトにおいて平成28年度分から収支報告書などを公開します。

【公開の対象となるもの】

- 収支報告書
- 調査研究・研修報告書
- 領収書

平成28年度議会報告会での意見が反映されました。

編集後記

今年の春は寒い日が続き、例年よりも桜が満開になるまでとても長くかかりました。在原業平の作として『世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし』という和歌がありますが、この春はまさに花の咲き具合に日々一喜一憂させられる年度始めとなりました。遅れた桜は小中学校の入学式を彩り、新入生の前途を祝うかのような花吹雪は強く印象に残り心から離れません。桜は古来より日本人に愛され、春爛漫の美しさとあわせて散り際はのかなさ潔さは人のこころ

を揺り動かし、多くの優れた和歌を残しました。業平への返歌『散らばこそいと桜はめでたけれ憂き世になにか久しかるべき』この世の中には常なるものは何ひとつ無い、という真理は自治体においても例外ではありません。順風のさなかにある春日市だからこそ、将来の激動の時代に立ち向かうために、今しかできない今こそやらなければならない議員提案、実行が求められています。

(ゆたか)

議会報編集特別委員会

委員長：高橋裕子 / 副委員長：白水博博
委員：川崎英彦 / 委員：岩淵 穰

【表紙】



春日原小入学式後の教室でのようす。市内12小学校で1,261人が新1年生となりました。